

第6回日中省エネルギー・環境総合フォーラム 開催概要

1. **会期**：2011年11月26日(土)
2. **会場**：全体会議 北京・人民大会堂、分科会 国家會議中心
3. **主催**：日本側 経済産業省、一般財団法人日中経済協会
中国側 国家發展改革委員会、商務部
4. **参加者**：李克強國務院副総理が開会挨拶を行い、日本側は、枝野幸男経済産業大臣、丹羽宇一郎在中国日本国特命全権大使、岡本巖日中経済協会理事長、高原一郎経済産業省資源エネルギー庁長官、佐々木伸彦経済産業省通商政策局長、中国側は、張平国家發展改革委員会主任、尤権國務院副秘書長、謝旭人財政部部長、張力軍環境保護部副部長、李金早商務部副部長等、日中両国から各500名、計1,000名が出席。

5. 全体会議（於：北京・人民大会堂 金色大庁）

(1) 講演

李 克強 國務院副総理
枝野 幸男 経済産業大臣
張 平 国家發展改革委員会主任
張 富士夫 日中経済協会会長（代読：岡本 巖 日中経済協会理事長）
李 栄燦 商務部部長助理
高原 一郎 経済産業省資源エネルギー庁長官
趙 家栄 国家發展改革委員会副秘書長兼資源節約・環境保護司司長

(2) 経済産業省と国家發展改革委員会による覚書調印式

枝野大臣と張平主任の間で、「日本国経済産業省と中華人民共和国国家發展改革委員会との省エネルギー及び再生可能エネルギーの利用協力の更なる展開に関する覚書」が調印された。

(3) 日中間の省エネルギー・環境関連プロジェクトの調印式（披露式）

上記両国大臣の覚書を含め過去最大となる51件の協力プロジェクトを披露。内容は、スマートコミュニティ、廃棄物リサイクル、水処理等に関するもの。なお、日中経済協会は、湖北省人民政府との間で省エネ環境分野をはじめとする協力関係を更に強化する覚書を披露。日中長期貿易協議委員会(LT)は、第7次日中長期貿易取決めに基づく日中省エネ環境協力覚書を披露。

6. 分科会（於：国家会議中心 3 階）

日中双方が関心のある以下の 7 テーマに関し率直な意見交換を実施。

- ① トップランナー制度分科会
- ② グリーン建築物分科会
- ③ 水処理・汚泥処理分科会
- ④ 循環経済分科会
- ⑤ 新エネルギー自動車分科会
- ⑥ 石炭・火力発電分科会
- ⑦ 長期貿易(LT)分科会

7. 地方視察

本フォーラムに先立ち、11月22日(火)(一部は23日(祝))～25日(金)の期間、日本側参加者は分科会ごとに6コースに分かれて9省・直轄市を訪問。中国各地の省エネルギー・環境分野の企業等の視察を行い、企業間交流、ビジネスマッチングを実施。

- ① グリーン建築物コース（山東省を訪問）
- ② 水処理・汚泥処理コース（四川省を訪問）
- ③ 循環経済コース（湖南省、天津市を訪問）
- ④ 新エネルギー自動車（広東省、安徽省を訪問）
- ⑤ 石炭・火力発電コース（山西省、天津市を訪問）
- ⑥ 長期貿易(LT)コース（上海市、江蘇省、安徽省を訪問）

8. パネル展示

日本の最新の省エネ・環境技術について17社がパネルを展示。

以上